

# 「青の町」を旅の目的地に



道の駅「パーク七里御浜」の一角に、

七里御浜ツーリストインフォメーションセンターがある。

御浜町を中心に周辺の市町、そして和歌山県や

熊野古道を紹介する観光案内所で、パンフレットを豊富にそろえ、

電動アシスト付き自転車の貸し出しも行っている。



カウンターにもパンフレット棚にも木がふんだんに使われる、七里御浜ツーリストインフォメーションセンター。旅行者だけでなく、カフェ利用のリピーターで地元の人も立ち寄り場所となっている

特別な思いが込める  
景色は「御浜 Blues」

七里御浜ツーリストインフォメーションセンターは、2020年6月にオープン。道の駅という立地もあって、コロナ禍においても比較的多くの旅行者が訪れるこの場所に、一般社団法人ツーリズムみはまの事務所がある。

「今はまだ通過点の御浜町を、目的地にしてもらいたい」と、地域振興のための観光にゼロベースから挑戦し、サイクリングなどのツアーも企画する。案内所を訪れる旅行者の中には、「御浜町」という



ツーリズムみはま  
マーケティングマネージャー  
辻本安芸さん



上) カフェのメニューもオリジナルにこだわった。下) Kii Cardは1ポイント=1円として利用可能。紀伊半島全体での地域連携を描くネーミングとした

まち自体を、またそこが三重なのか和歌山なのかを認識していない人もいて、課題として感じていた。また自ら集客する手立てを図ろうと、案内所にカフェを併設。まちをイメージしたオリジナル珈琲「御浜 Blues スペシャルブレンド」を販売し、みかんジュースの飲み比べもメニューに加えた。カフェを始めたことで、旅の人だけでなく、地元の人も立ち寄り場所となり、スタッフとの交流が生まれている。

オリジナルブレンドに名付けられた「Blues」には、特別な思いが込められている。「海が青い、山が青い、空が青い。日本人は信号機の緑色を青というなど独特の青の概念がありますが、ここ御浜では風も青く、青みかんもまちの特産品です」とツーリズムみはまのマーケティングマネージャーの辻本安芸さん。御浜町の風景には「青」が欠かせない。

## 利用状況を分析して マーケティングに生かす

ツーリズムみはまの事業の一つに、「Kii Card (キイカード)」の運用がある。地域経済を応援するために生まれた地消地産のポイントカードシステムで、生活す

る中でポイントを貯めることができ、ポイントは消費者にも地域にも還元される。人口減少という地域課題のために取り組み、循環できる地域経済を生み出すと、データを活用して、マーケティングに役立てる。利用できる店は御浜町だけでなく周辺の市町や和歌山県と広域に及ぶ。会員も町内だけでなく近隣地域の人も多く、また旅行者も登録できるため、利用状況の分析は今後の旅の魅力付けのヒントにもなる。

3月に公開された御浜町のタウンプロモーションサイトの制作、運用にも携わっている。「青を編む」をコンセプトに、観光、移住、柑橘就農、特産品と、オンラインでの発信を通し、町外の方にももちろん、地元の人たちにもまちの魅力を感じてもらえたら。観光で御浜町のリピーターを増やし、ゆくゆくは自分のように移住へつながったらうれしいです」と話す辻本さんに、御浜町で一番好きな景色を聞いた。「雨の日に谷間から霧の立ちこもる山もいいですが、やつぱり海ですね。180度水平線を眺められる七里御浜は、春夏秋冬と違った表情で、日々、同じ青はありません。贅沢ですよね。望郷詩人と呼ばれた佐藤春夫の熊野の青が、さらなる広がりを見せている。



一般社団法人 ツーリズムみはま  
七里御浜ツーリストインフォメーションセンター  
(9:00~17:00 L.O.16:30、水曜日休館)  
御浜町大字阿田和6115-5  
☎05979-3-0300  
御浜町タウンプロモーションサイト  
御浜町 青を編む 検索  
<https://mihama-mie-townpromotion.jp>